

# はらり ららはらり



～図書室にはこんな本があります～

No. 106

★ 特別上映会で上映されたアニメ「対馬丸～さようなら沖縄～」に関する図書室の資料をご紹介します。(書名の後の( )の数字は請求記号です。)

問)「対馬丸」について知りたい。

答)「対馬丸」をことばで検索してみます。

図書 → ことば → 対馬丸 ⇒ 63件該当



① 「対馬丸沈没」について

『生きぬいた子どもたち』(開架児童書 916/176)

『悪石島―疎開船学童死のドキュメント』(閉架一般 916/077)

『対馬丸』(閉架一般 916/077) … 『悪石島』の増補版

『対馬丸遭難の真相』(閉架一般 210.75/To49)

② 「対馬丸記念館」について

『ビジュアル版平和博物館・戦跡ガイド3』(開架児童書 319.8/Sa85/3)

『対馬丸記念館公式ガイドブック』(閉架一般 210.75/Ts91)

\* 「対馬丸記念館」は、対馬丸撃沈事件の犠牲者1,418名の鎮魂と、子ども達に平和と命の尊さを教え、事件を正しく後世へ伝えるために対馬丸撃沈から60年目の平成16年8月22日に沖縄県那覇市に開館した施設です。(上記ガイドブックより)

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。

検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。

操作方法等、カウンター職員までお気軽にお問い合わせください。

## 「雑誌は時代を映す鏡」

「雑誌は時代を映す鏡である」と言われますが、メディアの多様化やニーズの細分化する中で長い歴史を持つ雑誌の休刊が相次いでいます。

今年2月、1917年(大正6年)2月創刊の女性雑誌「主婦の友」(主婦の友社)が5月発売の6月号で休刊することを発表し、91年の歴史の幕を閉じました。

先日も「読売ウィークリー」(読売新聞社)が12月14日号(12月1日発売)をもって休刊するという記事が掲載されました。

「読売ウィークリー」は1943年(昭和18年)5月に「月刊読売」として創刊されました。その後、52年に「週刊読売」と名称を変更して週刊化され、「Yomiuri Weekly」「読売ウィークリー」と改称しながら、創刊以来65年という長い歴史を持つ総合雑誌として親しまれていました。しかし、近年の週刊誌市場の縮小傾向やメディアの多様化が進む中で休刊を決めたということでした。

雑誌は時代の変化を色濃く反映します。戦時中は、用紙不足から紙質が悪くなり、ページも次第に薄くなっていきました。表紙からは笑顔が消え、「主婦の友」などの婦人雑誌では、もんぺ服やはちまき姿で工場で働いている様子などが描かれており、特にその時々々の世相を反映しているものといえるでしょう。また、内容も国民服の作り方や食糧不足を補う代用食の作り方など、女性の「戦後」の手引きが中心となりました。

戦後になると、戦時中の雑誌統制で廃刊された映画雑誌「キネマ旬報」も1946年(昭和21年)に復刊するなど、あらゆるジャンルの雑誌が次々と創刊や復刊されました。

当館図書室では、上記に挙げた「主婦の友」「週刊読売」「キネマ旬報」などの他、戦中戦後に刊行された雑誌を多く所蔵していますので、手にとって読んでみてはいかがでしょうか。

参考文献 『目でみるマスコミとくらし百科』(361.45/N71/4)

『絵本・雑誌に見る昭和の世相』(726/Sa24)



—図書室から—

当館図書室でも定期購読しておりました「読売ウィークリー」ですが、12月14日号(12月1日発売)をもちまして休刊となりますので、ご了承ください。

ぶらりらいぶらりい ～図書室にはこんな本があります～ No. 106

2008年11月24日 発行

編集・発行 昭和館 図書室

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1